

「うなずき」が人物の印象に与える効果を検証

～好ましさと近づきやすさが4割上昇～

研究成果のポイント

- ・ うなずきや首振り動作をした人物の印象変化を実証的に検証。
- ・ うなずき動作が人物の好ましさ、近づきやすさの評定値を 30～40%上げた。
- ・ この効果は見た目の印象変化ではなく、性格特性の印象変化に起因していることを解明。

研究成果の概要

本研究は、「うなずき動作」をしている人物を見るだけで、その印象が変わることを検証した初めての研究です。北海道大学大学院文学研究科の河原純一郎准教授は、山形大学学術研究院の大杉尚之准教授（認知心理学）と共同で、うなずき、首振り動作を操作し、人物の印象（魅力、好ましさ、近づきやすさ）を評価する実験を行いました。その結果、うなずいた場合は、好ましさと近づきやすさの評定値が首振りや静止したままの場合に比べて 30～40%上昇しました。

この研究から、評価と無関係な動作でも、うなずくという動作は相手に近づきやすい印象を与え、ポジティブな評価に結びつきやすいことがわかりました。本研究の成果は、マナーやホスピタリティ教育、web 上のコミュニティで用いられるアバターやヒューマノイドロボットの評価などに役立つと考えられます。なお、本研究は文部科学省科学研究費補助金の助成を受けて行われました。



図 1. うなずき、首振り動作を観察した後に、被験者はモデルの印象を評価した。

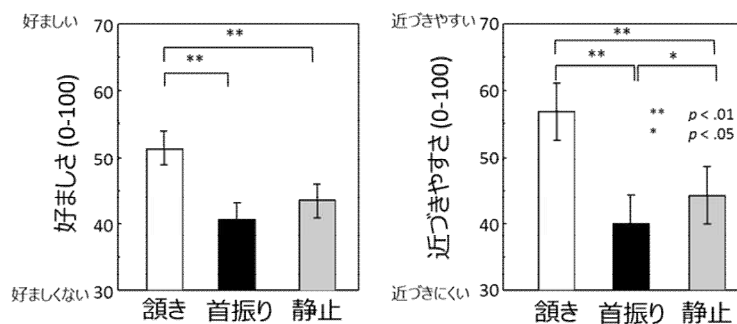


図 2. うなずき動作をすることで、人物の好ましさ、近づきやすさの印象評定値が高まった。

論文発表の概要

研究論文名 : Effects of head nodding and shaking motions on perceptions of likeability and approachability (うなずき・首振り動作が人物の好ましさと近づきやすさに及ぼす影響)

著者 : 大杉尚之 (山形大学学術研究院), 河原純一郎 (北海道大学大学院文学研究科)

公表雑誌 : Perception (知覚心理学の学術誌)

公表日 : 英国時間 2017 年 9 月 24 日 (日) (オンライン公開)

<http://journals.sagepub.com/doi/pdf/10.1177/0301006617733209>

研究成果の概要

(背景)

世界中の多くの国で、同意する場合はうなずき、拒絶する場合は首振りが用いられています。これらの動作は、態度を相手に伝える上で重要な役割を果たしていると考えられてきました。河原准教授らの研究グループは、お辞儀が魅力の上昇をもたらすことをこれまでに発見していましたが、単にうなずくだけ、首を横に振るといったさらに単純な動作が印象形成にどのような影響を及ぼすかは検証されていませんでした。

(研究手法)

CG で作成した人物がうなずく、あるいは首を横に振る短い動画を作成し、18 歳以上の男女合計 49 名の評価者が、動画一つごとに人物の印象(魅力、好ましさ、近づきやすさ)を 1~100 の範囲で評価しました。比較のため、動かないでじっとしている映像に対しても同様の評価をしました。

(研究成果)

評価者の性別に関わらず、人物が単にうなずく動作を見た後は、首を横に振る動作や静止したままの場合に比べて、好ましさは約 30%、近づきやすさは約 40% 高く評価されました。さらに、人物の見た目の好ましさと、推測した性格のよさについても調べたところ、性格特性の好ましさが特に上昇していました。

お問い合わせ先

北海道大学大学院文学研究科・准教授・河原^{かわはら} 純一郎^{じゅんいちろう}

TEL : 011-706-4154, 011-706-4198 E-mail : jkawa@let.hokudai.ac.jp

ホームページ : <https://www.let.hokudai.ac.jp/staff/4-1-09/>

山形大学学術研究院・准教授・大杉^{おおすぎ} 尚之^{たかゆき} (認知心理学)

TEL : 023-628-4862 E-mail : tosugi@human.kj.yamagata-u.ac.jp

ホームページ : http://www-hs.yamagata-u.ac.jp/faculty/teacher/db/teacher_100/

<http://tosugi2010.sakura.ne.jp/index.html>